

地域密着型通所介護光和堂 第7回運営推進会議

日時 令和4年9月30日(金)
場所 光和堂通所介護 事務室
参加者 別所寿亀クラブ老人会会長 A様
別所地区民生委員 B様
地域包括支援センター三恵苑 C様

光和堂代表 堀口
光和堂生活相談員 横山

コロナ禍の為に、横山が電話にて地域包括支援センター三恵苑のケアマネージャーC様と別所地区民生委員のB様、また別所寿亀クラブ老人会会長A様に、高齢者の家庭環境及び状況の現状把握と問題点をお聞きして、光和堂の活動をお伝えすると共に、今後の課題の為に意見交換を実施した。

1 活動状況の報告 横山

機能訓練の意義や目的、コロナ禍における運動の必要性やフレイルの危険性などをお伝えしている。また安心して通所して頂けるようにコロナ感染対策を徹底している。

コロナ禍で通所を控えている方(同居しているご家族が感染した等)、ご病気で長期にわたりお休みされている方への新たな取り組みとして、ユーチューブ動画配信による自宅での機能訓練のサービスを令和2年9月から実施して、必要に応じて継続していることをお伝えした。令和4年度以降は、通所の重要性和コロナ感染対策管理が継続されていることを再度ご説明した。光和堂のご利用者様は、ほとんどお休みなく通常通り参加頂いており、IADLの向上を目指している現況を報告した。また、今回老人会会長様と民生委員様、支援センター様と対話させて頂き、コロナ禍におけるご苦勞を再認識することができたので、今後もできる限り地域の連携に協力していきたいと思った。

2 ご要望・ご助言等の聴取

A様・・・コロナ感染対策の為に、老人会の催しは全て中止している。指扇地区で活動している他の老人会と、常に連絡を取り連携している。年末に役員会(13名)を開催して、来年度の老人会の催し再開について検討する予定である。月に一度電話にて老人会に所属している、独居高齢者の現状把握ができるように活動している。独居老人は老人会から退会する傾向にある。老人会の活動であった夜間パトロールは令和4年度も中止しているが、一ヶ月に一度副会長とともに自宅訪問をしたり、回覧を回して、個々にコロナワクチン接種の推

奨をしている。令和5年度には老人会の催しを再開したいと考えているので、光和堂にも協力してほしい。今後は地域密着型の通所介護や民生委員と問題を共有化し、不活性化の解決策を見出していきたい。別所寿亀クラブ老会員数がここ2年の間で11名減ってしまった。活性化を図る為に、呼びかけをしていきたい。

B 様・・・昨年と比べ大きな変化は無いが、特に問題の起こりそうな自宅には、夜、電気がついているか、朝、雨戸は空いているか、郵便物が溢れていないかなどを確認している。今年も「熱中症対策」の要点をまとめて、ポスティングしてきた。できる限りの地道な活動であるが、お礼の電話をかけてくれる方もいて、活動の重要性を再確認している。光和堂は少人数制だからこそそのケアを行ってくれるようなので、通所介護の参加を促す為にも、頼みの綱としていきたい。老人会の再開が決定したら、光和堂にもイベント協力をしてほしい。

C 様・・・コロナ禍が蔓延し、多くのデイサービスが休業する中、光和堂は休業することなく運営している。今後も感染者を出さないように感染対策を続けてほしい。光和堂の利用者は他のデイサービスに比べ長期に渡り利用している方が多い。今後も充実した運動内容ときめ細かい対応をお願いしたい。

3 まとめ

堀口・・・コロナ感染が続き、今年も多くのイベントが中止され、高齢者の外出機会や趣味活動などが制限され、心身ともに機能を低下させている方が多く見受けられます。地域の皆様やケアマネージャーさん、さらに弊社スタッフの協力により、休むことなく通所介護を営業できており、皆様方に深く感謝申し上げます。今後も様々な制約が続く中で、高齢者の社会参加や交流に協力して、高齢者の孤立を防げるようにお手伝いしていきたい。